



田中宗博 教授 略歴・業績目録

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-04-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/00017678



田中 宗博 教授近影

学歴

- 一九六三年四月 京都学芸大学附属京都小学校 入学
- 一九六九年三月 京都教育大学附属京都小学校（一九六六年改称） 卒業
- 一九六九年四月 京都教育大学附属京都中学校 入学
- 一九七二年三月 同右 卒業
- 一九七二年四月 京都教育大学附属高等学校 入学
- 一九七五年三月 同右 卒業
- 一九七六年四月 神戸大学文学部文学科国文学専攻 入学
- 一九八〇年三月 同右 卒業
- 一九八〇年四月 神戸大学大学院文学研究科修士課程国文学専攻 入学
- 一九八三年三月 同右 修了（文学修士）
- 一九八三年四月 神戸大学大学院文化学研究科博士課程文化構造専攻 入学
- 一九八九年三月 同右 単位取得退学

職 歴

一九八九年四月 神戸大学大学院文化化学研究科 助手

一九九〇年三月 同右 退職

一九九〇年四月 大阪府立大学総合科学部 講師

一九九七年七月 大阪府立大学総合科学部 助教授

二〇〇二年四月 大阪府立大学人間文化化学研究科 教授

二〇一六四月 大阪府立大学人間社会システム科学研究科 教授（現在に至る）

※この他、神戸大学医療技術短期大学部・大阪成蹊女子短期大学・大阪樟蔭女子大学・三重大学教育学部で非常勤講師を勤務。

研 究 業 績

【著書】

1. 『島原松平文庫蔵『古事談抜書』の研究』〔共著〕池上洵一編著 和泉書院 一九八八年一二月

※共著者〓池上洵一

※執筆担当分〓解説論文「『古事談拔書』本文考」注解後半部 説話一覽表

2. 『続古事談注解』〔共著〕神戸説話研究会編 和泉書院 一九九四年六月

※共著者〓池上洵一ほか全一九名

※執筆担当分〓全一八五説話中、冒頭第一話他二三説話分の執筆と、巻末〔関係説話一覽表〕の作製を担当

3. 『春日権現験記絵注解』〔共著〕神戸説話研究会編 和泉書院 二〇〇五年二月

※共著者〓池上洵一ほか全二五名

※執筆担当分〓2-3 / 3-1 / 8-4 a b / 14-4 / 15-1 a b の各章段分の執筆担当

4. 『近世寺社伝資料』『和州寺社記』・『伽藍開基記』 神戸説話研究会編 和泉書院 二〇一七年二月

※共著者〓池上洵一ほか全一五名

※科研費（研究成果公開促進費）助成申請研究代表者田中宗博／全体の監修と「あとがき」執筆

【学術論文】（すべて単著）

1. 『発心集』説話の貴族たちと長明——公経・統理・顕基をめぐる—— 一九八四年三月

「国文論叢」第11号（神戸大学国語国文学会）

2. 『発心集』の境界離脱譚 一九八六年三月

3. 『中外抄』『古事談』の仁海説話
 「解釈」第32巻第5号（解釈学会）
 一九八六年五月
4. 『発心集』貴族説話小考——成信・重家・有仁をめぐって——
 「国文学研究ノート」（神戸大学「研究ノート」の会）
 一九八六年七月
5. 『古事談抜書』本文考——『十訓抄』との交錯と独自異文——
 池上洵一編『島原松平文庫蔵古事談抜書の研究』和泉書院
 一九八八年一二月
6. 『中外抄』試論
 「国文論叢」第16号（神戸大学国語国文学会）
 一九八九年三月
7. 紀貫之の夢に散る花——『古今集』117歌考——
 藤岡忠美編『古今和歌集連環』和泉書院
 一九八九年五月
8. 地蔵に遇った尼のこと——『宇治拾遺物語』第16話をめぐって——
 「人文学論集」第9・10集（大阪府立大学人文学会）
 一九九一年三月
9. 『中外抄』『富家語』の世界
 説話の講座4『説話集の世界Ⅰ—古代—』勉誠社
 一九九二年六月
10. 豊穰なる矛盾——『発心集』を読む（1）——
 一九九五年三月

- 「人文学論集」第13集（大阪府立大学人文学会）
11. 発心を描く——『発心集』の方法をめぐる一考察——
「説話文学研究」第30号（説話文学会）
一九九五年六月
12. 凡愚への眼差し——『発心集』を読む（2）——
「人文学論集」第14集（大阪府立大学人文学会）
一九九六年一月
13. 聖帝説話のゆくえ
——『富家語拔書』『古事談』『続古事談』の一条天皇説話について——
「大阪府立大学紀要（人文・社会科学）」第44巻
一九九六年三月
14. 『発心集』数寄説話への一視角
「仏教文学」21号（仏教文学会）
一九九七年三月
15. 通世者説話の展開と変質——『発心集』を通して『撰集抄』を読む——
説話と説話文学の会編『説話論集』第七集 清文堂
一九九七年一〇月
16. 〈指の蛇〉を懺悔する女——『発心集』第五〇話試論——
「人文学論集」第17集（大阪府立大学人文学会）
一九九九年三月
17. 『発心集』読例——第十一話「高野辺上人偽儲妻女事」——
「人文学論集」第18集（大阪府立大学人文学会）
二〇〇〇年三月

18. 惟成説話とその周辺——『古事談』巻第二「臣節」篇への一考察——
池上洵一編『論集説話と説話集』和泉書院
二〇〇一年五月
19. 捨身飼虎説話と和歌
——『今昔物語集』『宇治拾遺物語』所収説話の読解のために——
藤岡忠美先生喜寿記念論文集刊行会編『古代中世和歌文学の研究』和泉書院
二〇〇三年二月
20. 『今昔物語集』が受容した『俊頼髓脳』をめぐる基礎的考察
——現存五種伝本との本文比較を通して——
説話と説話文学の会編『説話論集』第一二集 清文堂
二〇〇三年六月
21. 観相説話の諸相——『古事談』巻第六「亭宅諸道」篇説話を中心に——
「大阪府立大学言語文化研究」3
二〇〇四年三月
22. 『発心集』の仏法と王法（1）——巻頭通世者説話群の意味するもの——
「百舌鳥国文」17号（大阪府立大学国語国文学会）
二〇〇六年三月
23. 『発心集』の仏法と王法（2）——聖徳太子・行基・役行者の不在——
「百舌鳥国文」18号（大阪府立大学国語国文学会）
二〇〇七年三月
24. 『発心集』——「心」を追い求める
「国文学解釈と鑑賞」72巻8号 至文堂
二〇〇七年八月

25. 『中外抄』『富家語』——藤原忠実の説話世界
 小林保治監修『中世文学の回廊』勉誠出版
 二〇〇八年三月
26. 心誉験者説話の始原と展開——『富家語』の言談とその受容の諸相——
 「百舌鳥国文」19号（大阪府立大学国語国文学会）
 二〇〇八年三月
27. 蓮体編『観音冥応集』と南大阪地域
 「堺・南大阪地域学研究論集」1（大阪府立大学）
 二〇〇八年三月
28. 称徳女帝と後白河院をつなぐもの——『古事談』巻頭説話への一視角——
 浅見和彦編『古事談』を読み解く 笠間書院
 二〇〇八年七月
29. 藤原忠実の言談に現れた僧達——『中外抄』『富家語』の僧侶概観——
 「百舌鳥国文」20号（大阪府立大学国語国文学会）
 二〇〇九年三月
30. 『春日権現験記絵』と『中外抄』をめぐる一考察
 ——東三条邸に出現した天狗、そして覚鏝——
 「百舌鳥国文」21号（大阪府立大学国語国文学会）
 二〇一〇年三月
31. 『発心集』の仏法と王法（3）——天皇の描かれ方と〈王法〉観——
 「言語文化学研究 日本語日本文学編」6（大阪府立大学）
 二〇一一年三月
32. 河内国の人蓮体が採録した江戸の霊験説話一条

- 『観音冥応集』巻第五第二十六話をめぐって——
二〇一二年三月
- 「上方文化研究センター研究年報」13号（大阪府立大学上方文化研究センター）
二〇一二年三月
- 33 鴨長明の「都」と「都」の外への眼差し
「文学」第13巻第2号 岩波書店
二〇一二年五月
- 34 『発心集』の世界——鴨長明の「都」と「外国」——
『方丈記800年記念——鴨長明とその時代——』（国文学研究資料館）
二〇一二年八月
- 35 鴨長明伝——院政期下鴨社氏人の一生涯——
歴史と文学の会編『新視点徹底追跡 方丈記と鴨長明』勉誠出版
二〇一四年三月
- 36 『古今著聞集』「魚虫禽獸」篇の混沌をどう読むか
「百舌鳥国文」25号（大阪府立大学国語国文学会）
二〇一四年三月
- 37 妙国寺蘇鉄説話考（上）
「上方文化研究センター研究年報」15号（大阪府立大学上方文化研究センター）
二〇一四年九月
- 38 道長伊周同車説話とその周辺——藤原忠実の言談を読解する——
神戸説話研究会編『論集中世・近世説話と説話集』和泉書院
二〇一六年三月
- 39 妙国寺蘇鉄説話考（下）
「上方文化研究センター研究年報」16号（大阪府立大学上方文化研究センター）
二〇一六年三月

40. 『中外抄』にみる言談の〈場〉の諸相 二〇一六年八月

——忠実と師元の応答が記録された条について——

「説話文学研究」第51号（説話文学会）

41. 知足院関白藤原忠実が伝えた話 二〇一七年一二月

——三人の女性、超子・彰子・寛子をめぐって——

「文学・語学」221（全国大学国語国文学会）

42. （研究覚書）歌人鴨長明と説話 二〇二一年三月

「百舌鳥国文」30号（大阪府立大学国語国文学会）

43. 動物説話試験——『古今著聞集』『今昔物語集』所載説話を対象に—— 二〇二〇年三月

「言語文化学研究 日本語日本文学編」15（大阪府立大学）

44. 『発心集』私論——『閑居友』との比較から編者の社会的位相を考える—— 二〇二一年八月

「国語と国文学」第98巻第9号（東京大学国語国文学会）

【学界展望・書評】

1. 伊東玉美著『院政期説話集の研究』—— 一九九七年六月

「説話文学研究」32号（説話文学会）

2. 平成十九(二〇〇七)年国語国文学界の動向 中世散文 說話を中心に 二〇〇九年七月

「文学・語学」194 (全国大学国語国文学会)

3. 葛尾和宏著『院政期說話文学研究』 二〇一七年一月

「国語と国文学」(東京大学国語国文学会)

【翻刻・影印】

1. (翻刻) 京都大学付属図書館蔵『俊頼髓脳』 一九九六年三月

俊頼髓脳研究会編『顕昭本俊頼髓脳』俊頼髓脳研究会発行 全164頁 ※共著者全九名

2. (翻刻) 『唯独自見抄』 一九九七年一二月

俊頼髓脳研究会編『唯独自見抄』俊頼髓脳研究会発行 全150頁 ※共著者全八名

3. (影印) 国会図書館蔵『俊頼髓脳』 一九九九年一〇月

俊頼髓脳研究会編『国会図書館蔵俊頼髓脳』和泉書院影印叢刊92 全175頁 ※共著者全八名

4. (翻刻) 関西大学図書館蔵『俊秘抄』 二〇〇二年一〇月

俊頼髓脳研究会編『関西大学図書館蔵俊秘抄』和泉書院和泉古典文庫10 全166頁 ※共著者全12名

【辞典・事典類項目担当】

1. 『日本説話伝説大事典』 志村有弘・諏訪春雄編 勉誠出版 二〇〇〇年六月
※安珍・行人塚・源信・鷲娘・猿沢の池・性空・瀬田の唐橋・源順；等の項目を担当執筆
2. 『天皇皇族歴史伝説大事典』 志村有弘編 勉誠出版 二〇〇八年十二月
※村上天皇および、その妃・子女について、計二六項目を担当執筆
3. 『社寺縁起伝説辞典』 志村有弘・奥山芳広編 戎光祥出版 二〇〇九年十二月
※大鳥神社・神於寺・崇禪寺・那智山；等の項目を担当執筆
4. 『日本ミステリアス妖怪・怪奇・妖人事典』 志村有弘編 勉誠出版 二〇一一年二月
※「神仙・超人篇」の「慈覚大師（円仁）」の項目を担当執筆

学会活動

- 一九八〇年六月 説話文学会 会員（現在に至る）
- 一九八〇年六月 仏教文学会 会員（現在に至る）
- 一九八五年三月 解釈学会 会員（現在に至る）

一九八九年五月 中世文学会 会員（現在に至る）

一九九〇年十月 全国大学国語国文学会 会員（現在に至る）

一九九九年四月 仏教文学会 委員（現在に至る）

二〇一三年四月 仏教文学会会誌「仏教文学」編集委員（現在に至る）

二〇一六年四月 仏教文学会 副代表委員（二〇一八年三月まで）

二〇二一年四月 説話文学会 委員（現在に至る）